週刊「考歴民（これみ）」Ｎｏ37　2021.12.6

交野古文化同好会

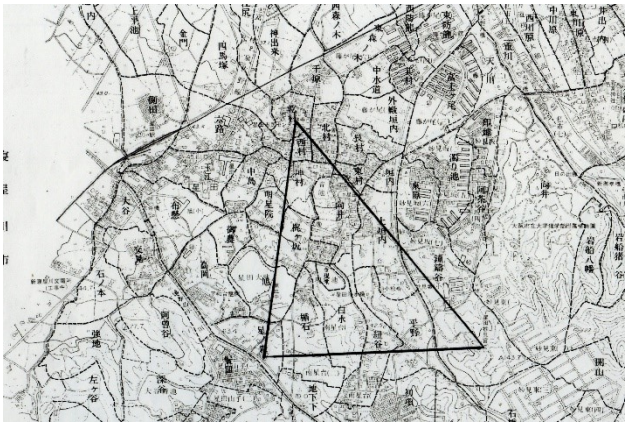
考古・歴史・民俗の頭文字を取って考歴民（これみ）と名付けました。

星田（ほしだ）

星田の地名の由来を探ってみると、次の二つの意味があると言われる。
まず一つは、字のとおり星信仰である。
もう、一つは、「干す（ほす）」、いわゆる「干田（ほしだ）」や牧場、荒地といった意味である。

星信仰については、星田に「八丁三所（はっちょうみどころ）」と言われている言葉がある。
それは平安時代初期、嵯峨天皇の時代、弘法大師が私市の観音寺に立ち寄られ、ここで虚空蔵菩薩求門持（こくうぞうぼさつくもんじ）の法を修められた。

するとその法力によって、その夜、山手に仏眼仏母の光明が輝いた。
そこで夜明けになってから山に登り、獅子窟寺山の吉祥院にある獅子の岩屋に入って仏眼尊の秘法を唱えられた。
すると不思議にも大空から七曜の星が降り、それが三つに分れて地上に落ちた。



その星の降った所を探してみると、星田の高岡山の南にある星の森、光林寺の境内の森、もう一つは妙見山の頂にある三つの巨石である。

以来、これらの石を「陽向石（ようごうせき）」として祭ることになったと言われている。

（妙見陽向石略縁起による）

星の森、光林寺、妙見山の距離が八丁であるところから「八丁三所」と言っている。

この星の御利益（ごりやく）による信仰が星田の人々に広まり、村の名になっていったとも考えられる。
もう一つは、「干す」の方である。
星田の背後の山地は花崗岩から形成されている。
しかも、この花崗岩は風化が激しく、もろい岩石になっている。
傍示川、中川、妙見川の形成した複合扇状地の上に村落が立地している。
村落の北側でも、その扇状地性の地形が発達しているため、昔は水田ではなく畑地や荒地が多かった。
また、これら河川は天井川であるから、一度大雨が降れば氾濫する危険な川である。
そのため、せっかく開墾した畑が土砂で埋まるということがたびたび繰り返されていたのであった。
次のような資料からもそのことがうかがえる。
江戸時代中期、天明８年(１７８８)、交野郡星田村に生まれ大阪に住んだ吉田屋藤七という人がいた。
彼は淀川筋の土砂留奉行に対し、砂防事業に対する意見書を提出している。
それによると、淀川に注ぐ天野川が水田面より２丈も高い天井川となっているため、この天野川に注ぐ他の小河川も同様に水田面よりも高くなっている。

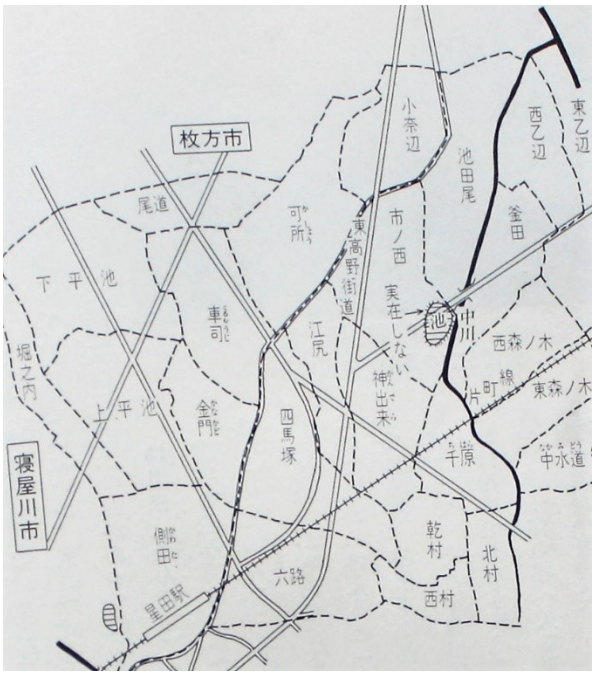
その結果、いくら川筋の堤防を高くしても上流から流れ出る土砂が川床にたい積するので、川床面の上昇と追いかけっこになるだけである。
根本策は土砂を川に流さない方策を講じなければ解決しないのである。
吉田屋藤七は、土砂の供給源である星田の奥山一帯のはげ山をなくすことであり、そのために山全体に植林をして下草刈りを止め、山全体を森林で覆いつくすようにすべきである。
そうすれば大雨が降っても洪水にはならず、したがって土砂の流出も少なくなる。
治山治水はこれしかないと説いている。
星田は昔から洪水の多かったことが、このことからも分かる。
中川堤から東、天野川にかけては条里制の遺溝が残るが、西は畑作地帯と原野であった。
この原野を星田牧と呼ばれ、牛馬の放牧地になっていた。
時期は奈良時代あたりから鎌倉時代初めと言われている。

星田牧に関しては平安時代末、高槻市上牧にあった為祢野牧との争いが保元年間（１１５６－１１５８）にでてくる。
鳥羽法皇の勢力下に入ろうとして、その寵姫藤原得子（美福門院）にかかわる興福寺別院円成院に寄進し、星田荘となったとある。
また、後白河院の時代にも今度は樟葉牧との紛争がでてくる。
「星田」は「千田」と言われたという理由は、奥山の土砂の流出の激しさから扇状地性地形が発達し、水田となりにくかったことから発生した地名ではないかと考えられる。

小字名

星田	東乙辺・西乙辺・池田尾・鎌田・小奈邊市の西・可所・尾道・上平池・下平池金門・車司・四馬塚・江尻・神出来千原・東森ノ木・西森ノ木・東坊龍西坊龍・天野川・冨士ヶ尾・北村・艮村・東村・坤村・西村・乾村・向井垣内・上垣内・外殿垣内・其村・中水道六路・側田・玉江・高岡・布懸・中島御農・梶ヶ坂・旭・星ノ森・楯石・地下下紐谷・平野・八頂・八ヶ畳谷・抜谷石橋　印字山・濁り池・東原・阿茶谷・鐘鋳田・開山・穴虫・菖蒲ヶ滝・南谷・大谷・小松・茨尾・萱尾・地獄谷・池之内・割林・早刈・拂底・細崩・西谷ノ口西谷東側・西谷西側・高松・鬢皿・交野山交見・阿曽谷・石ノ本・強地・深谷左ヶ谷・長谷切戸・狸谷・勢背谷小家ヶ谷・腹切谷・夫婦石・道場ヶ谷池之内・全現堂

主な小字地名図

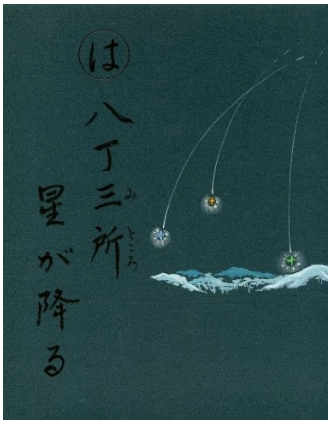


星田北部の小字名

開発で大きく変わります、東高野街道、一里塚、金門も消えるかも

「わがまちふるさとかたの地名をたずねて」より

☆アルバム



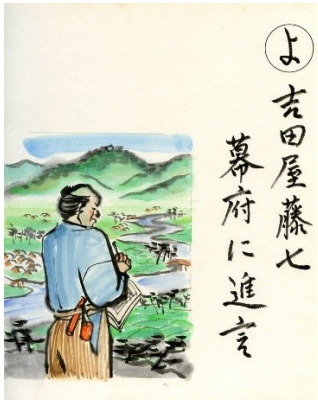
交野郷土史かるた

妙見宮に２個

星の森に５個

光林寺に１個

此附近星田牧址碑



交野郷土史かるた

一里塚跡碑（四馬塚）

東高野街道五里塚碑?

市条例:元禄十年（1697）星田村絵図

土塀の道（前方・新宮山）

発刊を祝う!!!

地道な活動・研究の成果を「河内の国交野郡星田の里」として見事まとめていただきました大屋氏に感謝申し上げます。

会員一同

交野の地名 歩きは、まだまだ続く。これで旧村八村を駆け足でめぐりました。地図を添付し、詳しい説明をすべきところですが、地名は実際歩いてみなければわかりません、こんなもんでお許しを。

次回は 12 月 13 日